

## 令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立立川第八中学校

2. 令和6年度 学校における自己評価

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・校区の小学校の学習活動に関する小中連携活動を通して地域に貢献する意識が高まった。</li><li>・京都・奈良の環境を学び、立川との差異を考えることで各地域の良さに気付くことができた。</li><li>・地域の農家の方との関わりを通して身近な野菜を考え、食生活への意識を高めた。</li><li>・職場体験の学習を通して、身近な地域の暮らしに興味を持ち、社会への参画意識を高めた。</li></ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の肯定的回答は昨年度に比べて15%減少している。「自分で考えて学ぶ」主体的な学習活動を推進していく。</li></ul>

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
24.8%	47.1%	13.4%	1.3%	13.4%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
40.5%	50.0%	1.2%	0.0%	8.3%